

# 執務態度評価(社会人基礎力) クリニカルラダーレベル別評価項目の着眼点

| 能力              | 能力要素     |                          | I-1  | I-2   | II  | III  | IV  |
|-----------------|----------|--------------------------|--|---|---|--|---|
|                 |          |                          | 初心者レベル   | 新人レベル   | 一人前レベル  | 中堅レベル  | 達人レベル   |
| 前に踏み出す力(アクション)  | 主体性      | 物事に進んで取り組む力              | 自分の業務の準備、後片付けを自ら行うことができる。  | わからないことは自ら調べ、また先輩に聞くことができる。                                   | 物事に対して肯定的で不平不満に対して前向きに対応できる。与えられた義務を果たすことができる。専門分野の学習を深めることができる。        | 困難な仕事に対しても取り組むことができる。所属部署での活動を意識することができる。自分の役割、期待されている役割を理解し行動することができる。                  | 病院全体の方針を理解したうえで行動することができる。問題点を明確にすることができる。困難な仕事にも取り組むことができる。        |
|                 | 働きかける力   | 他人に働きかけ巻き込む力             | 自分のできていることと、できていないことを受け止め、報告することができる。辛いことを表出することができる。  | 困ったことをタイムリーに表現でき、他のメンバーに協力を得ることができる。                          | チーム活動が円滑に行える様に、他者が協力を必要としていないか、意識して声をかけることができる。                         | 納得してもらうための方法を駆使し、他者にわかりやすく説明することができる。所属部署の問題、課題に対してメンバーと協力して取り組むことができる。他部署との調整をすることができる。 | スタッフや周りを巻き込み、働きかけることができる。   |
|                 | 実行力      | 目的を設定し確実に実行する力           | 日々の行動目標が立てられ取り組むことができる。失敗しても、毎日出勤することができる。   | 決められた計画は、率先して実行することができる。後輩の話を聞くように話かけることができる。                 | うまくいかないことは、そのままにせず、問題解決に向けて行動することができる。後輩指導をすることができる。                    | やれないというだけでなく、代替案をもって柔軟に対応することができる。   | 困難に遭遇しても、果敢に粘り強く行動することができる。感情的にならずに問題点を解決することができる。                  |
| 考え抜く力(シンキング)    | 課題発見力    | 現状を分析し目的や課題を明らかにする力      | 指示されたことや指導されたことをメモすることができる。  | 業務に関する情報収集ができ、自分の課題は何かを考えることができる。                             | 自分の置かれている状況から問題点を見出すことができ、他者に発言することができる。チーム目標に向けて自分のできることは何かを考えることができる。 | 課題を明確にし、目標を立てることができる。かつ、着手すべき課題の優先順位を判断することができる。   | 取り組むべき課題を上司に提案することができる。現状を正しく見据えた上で目標達成の弊害となる物事を排除することができる。         |
|                 | 計画力      | 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力 | 夜勤に入るまでに必要な経験項目がクリアできるように、準備・計画することができる。   | 自らの目標達成の計画を立案することができる。  | 課題達成のために複数のプロセスを導き出すことができる。   | 課題解決のための手順・方法から最適なものを選択することができる。   | 課題解決方法に取り組むため業務の見える化をすることができる。                                      |
|                 | 創造力      | 新しい価値を生み出す力              | 自分の行動や考えを説明することができる。   | 他者の意見を自主的に収集することができる。   | 新しい発想・考えを工夫・提案することができる。   | 既存の発想にとらわれず、良いやり方や効率的な方法はないかという視点で取り組むことができる。社会や医療の動向を意識する。                              | 従来の常識や発想を転換し、新たに問題の解決策を工夫することができる。                                  |
| チームで働く力(チームワーク) | 発信力      | 自分の意見をわかりやすく伝える力         | 心配事や不安なことを他者(指導者を含む)に相談することができる。   | カンファレンスの場で自分の意見を発言することができる。                                   | 分かりやすく整理したうえで自分の意見を伝えることができる。   | 問題点、改善案が提案することができる。  | 他職種や家族の要望を聞き、相手に応じた改善策を提案することができる。                                  |
|                 | 傾聴力      | 相手の意見を丁寧に聴く力             | 相手の目を見て話を聞き、相槌を打つことができる。   | 話を聴く姿勢がみられ、正確に理解しようとするることができる。                                | 話しやすい雰囲気を作り、相手の意見を受け止めることができる。  | 相手の考えを引き出すことができる。  | 相手の真意を検証しながら聴くことができる。   |
|                 | 柔軟性      | 意見の違いや立場の違いを理解する力        | 相手の話を素直に聞き、かつ自分の理解が正しいか確認することができる。   | 他者の意見を聞いて自身の考えを振り返ることができる。                                    | 他者(先輩、後輩)の意見を取り入れ、よりよい案を選択し協力することができる。                                  | 他者(先輩、後輩)の意見を聴いてよりよい案を選択し、自身の考えを変更することができる。  | 多職種の意見を聞き、修正しながら変更することができる。   |
|                 | 状況把握     | 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力   | 時間が厳守できる。タイムリーに「報告・連絡・相談」することができる。   | 重要性・優先度を理解しアセスメントしたうえで「報告・連絡・相談」することができる。                     | 周囲の状況を判断した上で優先順位をつけることができる。   | 日々の業務内容を把握した上で優先順位を考えた調整を行ない、行動することができる。   | 得た情報と現状を比べたうえで部署全体に及ぼす影響を考え行動することができる。                              |
|                 | 規律性      | 社会のルールや人との約束を守る力         | 身だしなみが整っている。挨拶することができる。社会人として、また公務員として規律を守ることができる。   | 各部署の決められたルールを守ることができる。  | 自らルールを率先して守り、職場秩序の維持・向上に良い役割を果たすことができる。                                 | 看護局・各部署のルールを自ら守り周囲に注意を促すことができる。  | 規律に対し模範を示すことができる。   |
|                 | ロールプレイング | ストレスの発生源に対応する力           | 食事睡眠をとることができる。自己の体調管理をすることができる。  | 勤務に合わせ体調を整えることができる。   | セルフコントロールができない時に適切な人に相談することができる。  | 危機や問題が発生したとき自分の陥りやすい傾向を把握し対処することができる。  | セルフコントロールができ、平常心を保つことができる。  |
| 倫理              | 倫理性      | 相手の立場に立って物事を考える力         | <ul style="list-style-type: none"> <li>看護者の倫理綱領に即した行動することができる。</li> <li>守秘義務を遵守することができる。</li> <li>個人情報保護に努めることができる。</li> <li>患者の尊厳を守ることができる。</li> <li>平等に看護を提供することができる。</li> <li>倫理について継続学習をすることができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>自ら守ることができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>振り返ることができる。</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>模範を示すことができる。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>模範となり注意を促すことができる。</li> </ul> |

【評価基準】 A: 模範レベル  
 B: 自ら、又は指導にて行動変容がみられるレベル  
 C: 指導しても行動変容がみられないレベル  
 ※倫理のみ、B・Cの2段階評価  
 ※A: 2点, B: 1点, C: 0点

※准看護師は、クリニカルラダーII達成の翌年からIIIとする。